

貴族院 恩給金庫法案特別委員會議事速記録第三號

昭和十三年三月十五日(火曜日)午前十時

五分開會

○委員長(三井清一郎君) 是ヨリ開會致シ

マス、前回ニ引續キ御質疑ヲ願ヒマス

○濱口儀兵衛君 昨日カラノ質問應答デ、此ノ恩給金庫ノコトガ大分能ク分ッタヤウニ思ヒマスガ、今マデノ御説明ニ依レバ、

是ハ積極的ニ貸出ヲスルノデヤナシニ、本當ニ已ムヲ得ズ金ガ要ルト云フヤウナ場合ニ出スノダト云フヤウナ御説明デアツテ、此ノ恩給法ノ精神カラ見タラ寧ロソレガ適當カラカドナタカラカ御質問ガアッタヤウニ思フノデスガ、サウ致シマスト此ノ計畫概要ニアルヤウナ、アレダケノ大キナ貸出ガ出來ルモノカドウカト云フ疑問ヲ持ツノデスガ、マア第一ニ今度庶民金庫ガ出來ルノデ、ソレデ相當ノ貸出ニ便宜ヲ得ラレテ、大抵ノコトハソレデモ間ニ合フヤウニ思フ、ソコヘ持ツテ來テ、此ノ恩給金庫ノ事務所ト云フモノハ、ドレ位ノ數ガ出來ルモノカ分ラヌ、其ノドチラニシタ所ガ澤山持ヘル譯ニ行カナインデ、ソコヘ一々金ヲ借りリニ行カナクチヤナラヌノハ不便デアル、サウ云

云フコトニ付テハ何カ相當ノ御見込ガアリマスカ

○政府委員(高木三郎君) 只今ノ御尋デゴ

ザイマスガ、現在國庫支辨デ扱ツテ居リマス、恩給ガ、今年度ノ豫算ニ依リマスト、一

フコト迄シテ行クヨリハ、寧ロ庶民金庫ヨリハ割合ニ便宜ニ借リラレルコトニナルノ

勿論此ノ計畫概要以上ニモ可ナリ出ルノデ

ヤナイカト思ヒマスガ、御説明ノヤウデア

ルト、逆モサウ出ナイヤウニ思ヒマス、衆議院ノ速記ナドヲ見マスト、現在恩給金ヲ

擔保ニシテ借リテ居ルモノガ二億圓位グラウト云フ風ニ聞イテ居リマスガ、併シ其ノ二億圓ト云フ實際ニ使ツテ居ル金ガ二億圓

デナク、其ノ中デ利子トカ手數料トカ云フ

モノガ相當天引サレテ居ルノデ、其ノ金額ノ中カラ相當減ツテ居ルヤウニ思フ、ソコヘ持ツテ行ツテ、今度ノヤウニ嚴選主義デヤルト、サウハ貸出ハムツカシイヤウニ思フノ

計算デ只今申シマシタヤウナ九千萬圓ニ達

ハ少クモ出テ居ルト思ヒマス、三箇年分ヲ

合計シマスレバ九千萬圓ニナリマス譯デゴ

ザイマス、ソレハ丁度一億五千萬圓自體ノ

スル額ニナリマスノデ、將來ノ額カラ言ヒ

マスト、マダノ上ルコト考ヘラレマス、

ナケレバ、是ハ營利事業トシテ普通ニハ成

立チニクイヤウニ思フガ、ソレ位ノ貸出ガ出來ルト云フコトニ付テハ何カ相當ノ御見込ガアリマスカ

恩給金庫ノ大體今計算シテ居リマスノハ十

年間ニ約二億圓ト云フ計算デゴザイマス、ソハレ丁度國費支辨ノモノノ總額ノ五割ト

云フコトニナルノデアリマス、五割ト云フ

額ハ少シ多イヤウデゴザイマスケレドモ、

云フコトハドウダラウカ、是ガ年金恩給金庫ト庶民金庫トヲ各別ニ設ケマシタ理由デ

億七千七百萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレニ今度ノ増額ヲ加ヘマスト、一億

少シ高ク見積ツテ居リマスガ、少クモ一億七八千萬程度ニハ行クダラウト豫想ヲ致シテ

居リマス、サウナリマストソレダケノ金ヲスモノヲ加ヘマスト、相當ノ額ニ上ルト思ツ

テ居リマス、現在ノ擔保金融者ノ手ニ入ツテ居リマス額ガドノ位ト云フ正確ナ數ハ分ラ

ナインデアリマスガ、國庫支辨ノモノニ付キ

マシテ二割乃至二割五分ト云フ風ニ考ヘテ

ナインデアリマスガ、ソレデゴザイマスカラシテ、大體

今迄ノ額カラ言ヘバ年額ニシマシテ三千萬

居リマス、ソレデゴザイマスカラシテ、大體

「サラリーマン」階級ヲ目標ニシテ居リマスノデ、而モソレガ庶民階級ト云フ一般的ノ目

標デアルモノデゴザイマスカラシテ、大體

ハ少クモ出テ居ルト思ヒマス、三箇年分ヲ

居リマス、ソレハ丁度一億五千萬圓自體ノ

スル額ニナリマスノデ、將來ノ額カラ言ヒ

マスト、マダノ上ルコト考ヘラレマス、

ナケレバ、是ハ營利事業トシテ普通ニハ成

立チニクイヤウニ思フガ、ソレ位ノ貸出ガ出來ルト云フコトニ付テハ何カ相當ノ御見込ガアリマスカ

恩給金庫ノ大體今計算シテ居リマスノハ十

年間ニ約二億圓ト云フ計算デゴザイマス、ソハレ丁度國費支辨ノモノノ總額ノ五割ト

〔副委員長男爵渡邊修一君 委員長席ニ著ク〕

少シ高ク見積ツテ居リマスガ、少クモ一億七八千萬程度ニハ行クダラウト豫想ヲ致シテ

居リマス、サウナリマストソレダケノ金ヲスモノヲ加ヘマスト、相當ノ額ニ上ルト思ツ

テ居リマス、現在ノ擔保金融者ノ手ニ入ツテ居リマス額ガドノ位ト云フ正確ナ數ハ分ラ

ナインデアリマスガ、國庫支辨ノモノニ付キ

マシテ二割乃至二割五分ト云フ風ニ考ヘテ

ナインデアリマスガ、ソレデゴザイマスカラシテ、大體

「サラリーマン」階級ヲ目標ニシテ居リマスノデ、而モソレガ庶民階級ト云フ一般的ノ目

標デアルモノデゴザイマスカラシテ、大體

ハ少クモ出テ居ルト思ヒマス、三箇年分ヲ

居リマス、ソレハ丁度一億五千萬圓自體ノ

スル額ニナリマスノデ、將來ノ額カラ言ヒ

マスト、マダノ上ルコト考ヘラレマス、

ナケレバ、是ハ營利事業トシテ普通ニハ成

立チニクイヤウニ思フガ、ソレ位ノ貸出ガ出來ルト云フコトニ付テハ何カ相當ノ御見込ガアリマスカ

恩給金庫ノ大體今計算シテ居リマスノハ十

年間ニ約二億圓ト云フ計算デゴザイマス、ソハレ丁度國費支辨ノモノノ總額ノ五割ト

云フコトニナルノデアリマス、五割ト云フ

額ハ少シ多イヤウデゴザイマスケレドモ、

云フコトハドウダラウカ、是ガ年金恩給金庫ト庶民金庫トヲ各別ニ設ケマシタ理由デ

アリマス、ソレカラ將來ノ貸出ニ付キマシテ相当制限ヲ加ヘタナラバ、非常ニ減ルン

デヤナイカト云フ御説デアリマスガ、此ノ

将来ノ貸出ニ付キマシテハ成ルベク御話ノ

ヤウニ制限ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、從ツテソレ等差向キ只今既ニモウ入ッテ居リマスモノノ救濟整理ト申シマスカ、是ハ或程度ニ矢張リ救ツテ行カナケレバナラナイト思ヒマス、差向キ乘替ヲ要スベキモノト考ヘラレマスモノデモ、初年度ニ於テ約四五千萬アリマス、現在金融業者ノ手ニ入ッテ居リマスモノヲ全部肩替リスルト云フコトニナレバ一億以上ノ金ガ要ルト考ヘラレマス、從ツテ少クモ當分ハ或ハ現在ノ計畫デ應ジ切レナイ程ニアルノヂヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、將來ハ逐次制限シテ行キマスレバ増加ノ率ハ減ツテ行クグラウト考ヘマス、從ツテ此ノ計畫デハ將來新規契約ヲ漸次低居リマス、サウ著シテ居リマス、併シナガラ矢張リ或程度ニハ人員モ殖エテ參リマスノデ、サウ著シク低下スルコトモナイダラウト考ヘマス又恩給金庫ハ先日來申上げマシタヤウニ、金庫自體ハ營利ヲ目的トシテ居ラナイ、拂込出資金ニ對シテ若干ノ配當ヲ致シマスケレドモ、是ハ出資ノ義務ニ對スル報酬ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ以外ニ金庫自體ガ何等營利ノ目的ヲ有ッテ居リマセヌカラ、將來ソレガ爲ニ事業成績ヲ擧ゲル爲ニドウスルト云フヤウナコトハ全然起ラナイト考ヘテ居リマス、金庫ガ

立行ク程度ニ於テ經費ガ上ッテ行キサヘスレバ宜イ、是ガ非常ニドッサリナ貸出ニナルコトハ望マシカラザルコトデナイカ、寧ロ矢張リ本當ニ必リ救ツテ行カナケレバナラナイト思ヒマス、寧ロ將來ノ金庫ノ行キ方トシテハ、モット外ス、現在金融業者ノ手ニ入ッテ居リマスモノノデモ、初年度ニ於テ約四五千萬アリマス、現在金融業者ノ手ニ入ッテ居リマスモノヲ全部肩替リスルト云フコトニナレバ一億以上ノ金ガ要ルト考ヘラレマス、從ツテ少クモ當分ハ或ハ現在ノ計畫デ應ジ切レナイ程ニアルノヂヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、將來ハ逐次制限シテ行キマスレバ増加ノ率ハ減ツテ行クグラウト考ヘマス、從ツテ此ノ計畫デハ將來新規契約ヲ漸次低居リマス、サウ著シテ居リマス、併シナガラ矢張リ或程度ニハ人員モ殖エテ參リマスノデ、サウ著シク低下スルコトモナイダラウト考ヘマス又恩給金庫ハ先日來申上げマシタヤウニ、金庫自體ハ營利ヲ目的トシテ居ラナイ、拂込出資金ニ對シテ若干ノ配當ヲ致シマスケレドモ、是ハ出資ノ義務ニ對スル報酬ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ以外ニ金庫自體ガ何等營利ノ目的ヲ有ッテ居リマセヌカラ、將來ソレガ爲ニ事業成績ヲ擧ゲル爲ニドウスルト云フヤウナコトハ全然起ラナイト考ヘテ居リマス、金庫ガ

スレバ宜イ、是ガ非常ニドッサリナ貸出ニナルコトハ望マシカラザルコトデナイカ、寧ロ矢張リ本當ニ必リ救ツテ行カナケレバナラナイト思ヒマス、寧ロ將來ノ金庫ノ行キ方トシテハ、モット外ス、現在金融業者ノ手ニ入ッテ居リマスモノヲ全部肩替リスルト云フコトニナレバ一億以上ノ金ガ要ルト考ヘラレマス、從ツテ少クモ當分ハ或ハ現在ノ計畫デ應ジ切レナイ程ニアルノヂヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、將來ハ逐次制限シテ行キマスレバ増加ノ率ハ減ツテ行クグラウト考ヘマス、從ツテ此ノ計畫デハ將來新規契約ヲ漸次低居リマス、サウ著シテ居リマス、併シナガラ矢張リ或程度ニハ人員モ殖エテ參リマスノデ、サウ著シク低下スルコトモナイダラウト考ヘマス又恩給金庫ハ先日來申上げマシタヤウニ、金庫自體ハ營利ヲ目的トシテ居ラナイ、拂込出資金ニ對シテ若干ノ配當ヲ致シマスケレドモ、是ハ出資ノ義務ニ對スル報酬ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ以外ニ金庫自體ガ何等營利ノ目的ヲ有ッテ居リマセヌカラ、將來ソレガ爲ニ事業成績ヲ擧ゲル爲ニドウスルト云フヤウナコトハ全然起ラナイト考ヘテ居リマス、金庫ガ

スレバ宜イ、是ガ非常ニドッサリナ貸出ニナルコトハ望マシカラザルコトデナイカ、寧ロ矢張リ本當ニ必リ救ツテ行カナケレバナラナイト思ヒマス、寧ロ將來ノ金庫ノ行キ方トシテハ、モット外ス、現在金融業者ノ手ニ入ッテ居リマスモノヲ全部肩替リスルト云フコトニナレバ一億以上ノ金ガ要ルト考ヘラレマス、從ツテ少クモ當分ハ或ハ現在ノ計畫デ應ジ切レナイ程ニアルノヂヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、將來ハ逐次制限シテ行キマスレバ増加ノ率ハ減ツテ行クグラウト考ヘマス、從ツテ此ノ計畫デハ將來新規契約ヲ漸次低居リマス、サウ著シテ居リマス、併シナガラ矢張リ或程度ニハ人員モ殖エテ參リマスノデ、サウ著シク低下スルコトモナイダラウト考ヘマス又恩給金庫ハ先日來申上げマシタヤウニ、金庫自體ハ營利ヲ目的トシテ居ラナイ、拂込出資金ニ對シテ若干ノ配當ヲ致シマスケレドモ、是ハ出資ノ義務ニ對スル報酬ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ以外ニ金庫自體ガ何等營利ノ目的ヲ有ッテ居リマセヌカラ、將來ソレガ爲ニ事業成績ヲ擧ゲル爲ニドウスルト云フヤウナコトハ全然起ラナイト考ヘテ居リマス、金庫ガ

スレバ宜イ、是ガ非常ニドッサリナ貸出ニナルコトハ望マシカラザルコトデナイカ、寧ロ矢張リ本當ニ必リ救ツテ行カナケレバナラナイト思ヒマス、寧ロ將來ノ金庫ノ行キ方トシテハ、モット外ス、現在金融業者ノ手ニ入ッテ居リマスモノヲ全部肩替リスルト云フコトニナレバ一億以上ノ金ガ要ルト考ヘラレマス、從ツテ少クモ當分ハ或ハ現在ノ計畫デ應ジ切レナイ程ニアルノヂヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、將來ハ逐次制限シテ行キマスレバ増加ノ率ハ減ツテ行クグラウト考ヘマス、從ツテ此ノ計畫デハ將來新規契約ヲ漸次低居リマス、サウ著シテ居リマス、併シナガラ矢張リ或程度ニハ人員モ殖エテ參リマスノデ、サウ著シク低下スルコトモナイダラウト考ヘマス又恩給金庫ハ先日來申上げマシタヤウニ、金庫自體ハ營利ヲ目的トシテ居ラナイ、拂込出資金ニ對シテ若干ノ配當ヲ致シマスケレドモ、是ハ出資ノ義務ニ對スル報酬ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレ以外ニ金庫自體ガ何等營利ノ目的ヲ有ッテ居リマセヌカラ、將來ソレガ爲ニ事業成績ヲ擧ゲル爲ニドウスルト云フヤウナコトハ全然起ラナイト考ヘテ居リマス、金庫ガ

ラ、サウ廣ク需要ニ應ズルト云フ譯ニ行キ
カネルノデアリマス、處ガ利用スル方面ハ
庶民金庫ノ方ガ活動範囲ガ多イノデゴザイ
マシテ、本來カラ言ヘバ庶民金庫ノ方ガ運
用資金、其ノ他ガモット多額デナケレバナラ
ヌト思ヒマス、併シ此ノ點ニ付テハ恐ラク
試験的ト云フ意味デ、當分アノ程度ニ止メ
ラレルコトト思フガ、少クモ當分ノ間ハ庶
民金庫ト恩給金庫トノ間ノ仕事ニ喰達ヒガ
來ルト云フコトハナイノデアリマスカラ、
目標トル方面ガソレゝ違フト云フコト
デ相當ノ業績ガ擧ルノデヤナイカ、極メテ
抽象的デアリマスケレドモ、サウ考ヘテ居
リマス

金庫ヨリモ一分程安クアガル譯デアリマス、而モアレデアッタナラバ信用組合デモ無盡デモ何處デモ取扱ツテ吳レルノデ極ク近イ所デ間ニ合フ、而モ御話ノ通リ大體ノケレドモ、多クノ人ハ御話ノヤウニ三百圓トカ、四百圓ト云フヤウナ程度ノモノデアッテ、而モ其ノ人ガ恩給ヲ持ッテ居ツテ、其ノ恩給ガ他ヘ擔保ニ行ツテ居ラナイト云フコトガ明カデアレバ、此ノ庶民金庫ノ方デ相當ソレハ貸出シ易イモノノ一ツデヤナイカト思フ、サウ云フ風ナモノガホンノ手近ニアヌル、恩給金庫ノ事務所ト云フモノハドノ位出來ルカ知ラナイガ、一縣ニ一箇所トシテモ田舎ノ人ハソコ迄行クノガ大變デ、ソソナコトヲシナクトモ村ノ産業組合ヘ行ケバ樂ニ借りラレルカラ寧ロソッチノ方ヘ行キ易イノデヤナイカ、或ハ都會……東京トカ、大阪トカ云フヤウナ所デアレバドツチヘ行ツテモ宜イ譯デスケレドモ、地方ニ散在シテ居ルモノカラ見ルトソッチノ方ガ餘程デヤナイカト思フノデスガ、是ハ恩給ヲ擔保ニシテ居ルコトガ分ラナイト事面倒デスケレドモ、田舎デアレバ近所ガ分ツテ居ル、

恩給ヲ貰^フテ居^ツテソレヲ擔保ニシテ居ラナ
イト云フコトガ分レバ庶民金庫デ相當ノ
扱ガ出來ルト思フ、ドウモサッキ御話ノ通り
差當^ツテ此ノ借替ノ爲ニハ要ルノダケレド
モ、長イ目デ見レバ本當ニ此ノ恩給ヲ擔保
ニシナクチヤナラスト云フヤウナ金額ト云
フモノハ、庶民金庫ガ出來ル以上ハサウ大
シテ大キナモノデヤナイカノヤウニ思フガ、
チヨット今ノ御説明デサウデヤナイト仰シ
ヤルノデ、ドウモチヨット話ガ諒解シカネル
ノデスガ、一體恩給ト金庫ハゾンナ風ニ色々
御説明ニナッテ居ルケレドモ、大體ハ併シ
恩給者ニ非常ニ便宜ヲ圖^ツテヤラウト云フ
建前カラ御考ニナッタモノデヤナイデセウ
カ、勿論此ノ恩給ト云フモノノ性質ガ内田
サンカラ御質問ガアッタヤウニ、是ハ一體ド
ウ云フ風ナモノダト云フコトヲ最初研究ス
ル餘地ガアルト思フ、本當ノ權利グト云フ
モノデアレバ恩給法ニデモ一つノ制限ヲ附
ケテ置ケバ恩給證書デ何處デモ金ガ借リラ
レルカラ、特ニ恩給者ニハ低利ノ貸出ラシ
ナクチヤナラヌト云フ意味デ、一般ノ人同
様ニ扱^ツテ宜イ、何處デモ擔保ニ出來ルモノ
デヤナイカト思フノデスガ、併シ今ヂヤソ
レヲササナイト云フヤウナ恩給ノ性質カラ
見テ、矢張リ成ルベク長キニ亘^ツテ其ノ人ノ

生活ヲ安定出來ルヤウニ拘ヘテ居ルノデ、
ルヤウナモノヂヤナイヤウニ思フガ、何ト
カ最初ニ御説明ガアッタヤウニシヨウト云フ
チヤイケナインオデ、矢張リ普通ノ營利會社ト
シテ出來ルダケ借リ易イヤウニシヨウト云フ
風ナ御説明ガアッタヤウデスガ、其ノヤウナ
點カラ見ルト恩給金庫ト云フモノヘ成ルベ
クマア多クノ利用恩給者ニ便宜ヲ圖ッテヤラウ
ト云フ風ナコトニヤウニナルヤウニ思フノデ
スガ、併シソレモ考ヘ方ノ一ツナンデスガ、サ
ウヤツテ良イカ惡イカト云フコトニ付テハ是
ハ考ヘ達ヒデアリマスカ、御趣意ニ依ッタナ
ラバサウ云フモノヂヤナイト云フ御話デス
ガ、ソレデアレバドウモ相當ノ金額ヲ貸セ
ルカドウカト思ハレル、何カモット得心出
來ルヤウナ御説明ガ伺ヘナイモノデスカ
○政府委員(高木三郎君) 恩給ノ本質論ニ
付キマシテハ、昨日内田サンノ御尋ニ對シ
テ、法制局長官カラ御説明申上ゲマシタガ、
ソレハ恩給ト年金トデハ違フノデス、恩給
ノ方ハドウカト申シマスト、元來ハ私共恩
惠ダト思フノデス、之ニ對シテ本質論トシ
テハ色々ノ議論ガアルノデスケレドモ、今
迄行ハレテ居リマシタ所謂本質論ト云フモ
ノハ、恩給制度ガ出來ル迄ノ沿革ヲ色々ノ

本質論カラ考ヘマスト、結局ハ只今ノヤウニ法律ニ認メテ権利トナル迄ハ明カニ恩惠制度ガ出来マシタ明治初年ノ事情カラ考ヘマシテモ、矢張リ恩惠ト考ヘラレル、併シナガラ恩惠ガ長ク續ク場合ニ於テハ是ハ能ク法律家モ申シマスヤウニ、恩給化シテ権利トナルト云フコトデ、自然ニ権利化サレテ來ルモノデアッテ、明治二十二年ニ官吏恩給法、軍人恩給法等ノ法律ガ出来マシタ結果、從來ノ恩惠ト云フモノガ権利化シタモノト考ヘルノガ普通デヤナイカト思フ、處ガ年金ニ付キマシテハ、是ハモウ明カニ褒賞デアリマシテ、金鷄勳章年金或ハ旭日章年金ト云フヤウナ制度ハ賞典ト見ルベキモノダラウト思フノデス、從ツテ一概ニ年金、恩給ト申シマスケレドモ、其ノ性質ハ必ずシモ一樣ヂヤナイト私共考ヘテ居リマス、唯之ヲ法律的ニ考ヘマシテ、只今申シマシタヤウナ恩惠ガ逐次化シテ権利トナシテ、ソレヲ如何ニ見テ行クカト云ラ問題ニナルト思ハレルノデスケレドモ、法律的ニ考ヘマスレバ矢張リ一身ニ專屬シタル権利ト考ヘルノガ普通デヤナイカ、ソレトシマスレバ

上認メラレテ居ルトシマスレバ
〔委員長三井清一郎君委員長席ニ復ス〕
ソレニ對スル處分ヲ或程度ニスルト云フコトモ、必ズシモ惡イコトダトハ言ヘナイト思フノデアリマス、唯恩給ナリ年金ナリガ出來タ本來ノ趣旨カラ考ヘマスレバ、サウ云ファウナ生活ノ資源ニナリマスルモノハ、擔保ニスルト云フコトハ本來ノ趣旨ヲ外レテ居ルト云フコトハ言ヒ得ルノデハナイカト思ヒマス、ソレデ望マシカラザルコトデアリマスケレドモ、ドウモ實際問題トシテ已ムヲ得ナイ、背ニ腹ハ換ヘラレナイト云フコトデアルナラバ、何カソヨニ一ツノ途ヲ開カナケレバソレヲ制限スルコトガ出來ナイ、金融ヲ途ガ開カズシテソレニ對シテ制裁ヲ加ヘタ所デ、ソレハ實行出來ルモノデハナイ、ソコデ今回恩給金庫ヲ拵ヘマシタト云フコトハ、其ノ一ツノ拔ヶ道ヲ考ヘタニ過ギナイ、謂ハバ權道ト云フヤウニ考ヘテ居リマス、デアリマスカラシテ只今申シマシタコトガ十分御尋ノ何ニ合フカドウカ分リマセヌガ、私ノ考ヘテ居リマスコトニ依ルト一ツノ權道ヲ設ケテ、兎モ角一ツヤツテ見ヨウ、將來ノ恩給金庫ガドウ云フ方面ニ向ツテ行クカト云フコトハ、實ハ私共モ十分ニ確信

金融制度ガ發達シテ來タ時代ニ於テハ、恩給金庫ト云フモノハ要ラナクナル時代ガ來ルカモ知レマセヌ、サウ云フ時代ニ於テハ又其ノ時ノコトトシテ考ヘテ宜イノデハナカ、恩給金庫トシテノ建前カラ考ヘレバ、是ハ先日來カラ申シマシタヤウニ唯單ニ金ヲ貸スト云フコトノミヲ本意ニスル機關デアツテハナラナイ、寧ロ將來恩給金庫ノ向ツベキ道トシテハ年金、恩給受給者ノ好キ相談相手トナル、是ガ本當ノ公益法人ノ本質ヲ發揮スルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、唯先程來申上ゲマシタヤウニ、當分ノ間ハ少クモ現在ノ情況ヲ或程度ニ肩替リシテ置クト云フ意味ニ於テ、金ノ貸出シト云フコトガ金庫ノ仕事ノ大部分ヲ占メルト云フコトニナリマセウガ、將來金庫ノ基礎ガ確立シ、又貸出シニ對スル色々々ノ經驗ヲ經テ來マシタ場合ニ於テハ、更ニ再検討ヲシナケレバナラスト云フ時機ガ來ルノカモ知ラヌト云フヤウニ考ヘテ居リマス○濱口儀兵衛君 サウシマスルト此ノ恩給金庫ノ貸出シト云フモノハ、マア相當制限シヨウト云フノダカ、チヨット其ノ邊能ク分リニク云フノダカ、チヨット其ノ邊能ク分リニクイヤウニ思ヒマスガ、併シ先程モ申シマシ

モーツノ考ヘ方デスガ、ソンナ風ニ便宜ヲ
圖ラウト云フナラバ、恩給法ニ此ノ擔保ヲ
機關デモ何處デモ金ヲ借リラレルノデアル
カラ、必ズシモ高利貸ノ虐メラレルト云フヤ
ウナコトモナイデ濟ムト思ヒマス、併シ恩
給金庫デアレバ、此ノ受恩給者ノ將來ノ爲
ニ能ク考ヘテ、貸シテヤルト云フコトニ恩
給金庫ノ値打ガアルヤウニ思ヒマスガ、先
程申上ゲタヤウニ思フヤウナ貸出シガ出來
ナイノデヤナイカト思フ、併シ便宜ヲ圖ラ
ウト云フナラバ此ノ計畫概要ニアル以上ニ
モ貸出シガ出來ルト思ヒマスガ、若シソン
ナ風デアッタナラバ恩給金庫ト云フヤウ
ナ特殊ノ機關ハナシニ、普通ニ擔保借リヲ
シタナラバ、十分ニ目的ヲ達スルノデハナ
イカト思フノデスガ、併シ先程カラ御話ノ
ナルシ、其ノ人ノ幸福ヲ圖ッテヤラウト云フ
コトノ爲ニ必要ダト云フコトニ付テハ、ソ
レハ御尤ノコトデ、唯併シ恩給金庫ノ貸出
ト云フコトニ付テハ、特ニ其ノ必要ガドノ
デアリマスガ、一般ニ開放シタラ都合ガ惡
程度ニアルカト思フノデ御伺ヒシテ居ル譯

イト云フコトハ、勿論アレヲ擔保ニスベカラズトシテ居ルノダカラ、内緒ニ金ヲ借りタリスルモノデスカラ、高イ利息デ苦シメラレルノデスガ、サウデナカッタラ相當イケルモノデヤナイカト思フノデスガ、是ハドンナモノデセウ

令ヲ、大正十二年ニ恩給法改正當時ニ、同時ニ改正シマシタ、其ノ際ノ宮内省ニ於ケル意見ノ中デ、非常ニ強イ意見ハ、一體サウ云フ恩給ヲ擔保ニ供スルト云フコトハ怪シカラヌデヤナイカ、之ニ對シテ制限ヲ加ヘタ方ガ宜イト云フノデ、一種ノ制裁規定トシテ只今申上ゲマシタヤウナ、擔保ニ供スルコトヲ得ズ、擔保ニ供シタル場合ハ支給ヲ停止スルト云フ規定ヲ設ケタノデスガ、其ノ結果實際ノ問題ニナリマスト、矢張リ元宮内官デアッテモ金ニ困ル場合ニ於テハ同ジモノデゴザイマスカラ、蔭ニ隠レテ矢張リ金融業者ノ所ヘ持ッテ行クト云フコトニナルト思フノデス、其ノ場合ニ金融業者ノ方デハ、宮内省ノ恩給ハ擔保金融ニ供シタル場合ニエ支給ヲ停止サレルノデアルカラト云フノデ、利率ナリ手數料ナリガ一般ノモノヨリモ高イト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、只今ノ御説ノヤウニ、之ヲ一般ニ解除シテ自由ニスルト云フコトモ確ニ一ツノ方法トシテ考ヘラレナイコトハナイノデアリマシテ、政府デ研究致シマシタ場合ニ於テモ、其ノ點モ十分考ヘタノデアリマス、併シナガラ其ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、恩給ナリ年金ナリト云フモノノ性質カ

ラ考ヘマシテ、本質論カラシテ、一體サウ
云フモノヲ自由ニ處分シ得ルヤウニスルト
云フコトニ根本ニ不都合ガアルヂヤナイカ、
已ムヲ得スト云フ場合ニ、何等カ其處ニ權
道ヲ認メル程度デ宜イノデアッテ、ソレヲ自
由ニシテシマッテ勝手ニヤッテシマフト云フ
行キ方ハ、年金恩給ノ本質ト相容レザルモ
ノデハナイカト云フノデ、矢張リ政府ト致
シマシテハ擔保禁止ノ規定ヲ其ノ儘置キ、
更ニ進ンデハソレニ對スル制裁ノ規定モ置
キ、サウシテ其ノ制裁規定ヲ置イタダケデ
ハ、實際問題トシテ流レテ行クヤツハ仕方ガ
ナイ、ソコデ特殊ノ一つノ機關ヲ作ッテソ
レニノミ許ス、許シソレ以外ニヤッタ場合
ニハ將來ハ十分ナ取締ヲスルト云フ方針ヲ
立テマシタ

○政府委員(高木三郎君) 只今ノ説明ハ、本質論カラ申シマシテモ之ヲ一般ニ解除スルコトガ宜クナイト云フコトハ勿論デゴザ一體年金恩給ヲ擔保トシテ金融ヲ受ケルト云フヤウナ場合ニ於テ、動トモスルト年金恩給受給者ノ品位ヲ傷ケルト云フヤウナ事例ガ少クナインデゴザイマス、是ハ私共當局トシテ始終見テ居リマス事例デ、常ニサウ云フコトヲ痛感スルノデゴザイマスガ、年金ナリ恩給ナリフ受ケテ居リマス受給者ハ、大體ニ於テ社會ノ中流以上ノ、或場合ニ於テハ上層ノ人デナケレバナラナイト思フノデゴザイマスガ、ソレガ實際ノ問題トシテハ先程御話ノヤウニ、之ヲ事業資金ニ供スル、士族ノ商法デ失敗シテシマッテ、元モ子モ無クナッテシマフ、其ノ結果非常ナ窮乏ノ狀態ニ陥ツテ體面ヲ保タレナイト云フヤウナモノモ少クナインデゴザイマス、私共常ニサウ思フノデゴザイマスケレドモ、役人トシテモ勅任官以上ノ地位ニ昇ル、或ハ又軍人デ將官ニデモナッテ居ルト云フヤウナ、社會ノ儀表ニナラナケレバナラナイ踏ミ外シマシテ、遂ニハ刑事問題ヲ起スト

云フヤウナ事例ヲ見ル度ニ、受恩給者竝ニ

年金ヲ受ケテ居リマス者ノ品位ト云フ上カ

ラ考ヘマシテ、此ノ問題ヲ放任シテ置ケナ

イヂヤナイカ、全ク何等カ已ムヲ得ザル事

由デ擔保ヲ、金融ヲ受ケルト云フヤウナ場

合ハ、是ハ何トカ、ドンナ階級ニ於テモア

ルコトデアルカラ、救濟ノ方法ヲ考ヘナケ

レバナラスト思ヒマスケレドモ、ソレト同

時ニ受給者タルノ品性ヲ保タシメルト云フ

コトガ是非必要デナイカト私共考ヘテ居リ

マスガ、恩給金庫ヲ作リマシタツノ本旨

モソコニアルノデゴザイマシテ、從來受給

者ノ意思ヲ綜合出來ルヤウナ機關ト云フモ

ノガ今迄殆ドナイノデゴザイマス、年金、

恩給受給者ト云フモノハ殆ド孤獨デアリマ

シテ、考ヘヤウニ依リマスト、一旦恩給ヲ

受ケルト、政府カラモウソレ切リデ、アトノ

コトハ少シモ顧ミラレナイ、受給者同志ノ

連絡ト云フモノハ殆ドナイノデゴザイマス、

是等ハ矢張リ餘程將來ノ問題トシテ考ヘナ

ケレバナラナイノデ、國家トシテモ恩給ナ

リ年金ナリヲ給シタ以上ハ、矢張リ將來何

處迄モ或程度面倒ヲ見テ行ッテヤル必要ガ

アル、サウ云フヤウナ機關トシテモ矢張

リ恩給金庫ノヤウナ一ツノ組織ガ出來ルコ
トガ宜イノデヤナイカ、私共ノ狙ツテ居リマ

スノハ將來恩給金庫ノ行キ方ハ、サウ云フ

方面ニ活動スルト云フコトガ必要ナノデヤ

ナイカト云フコトヲ實ハ狃ヒ所ニ致シテ居

リマス

○濱口儀兵衛君 今御話ノアツヤウナ風

ノ受恩給者ノ體面トカ、色々ノ關係カラシ

テ金融ニ餘程惱ンデ居ルト云フノハ、此ノ

擔保ニ出シテハイケナイト云フコトガアル

ノヲ、或者ハソレヲ内緒ニ持ツテ行クカラソ

コニ餘程無理ガアルト思フ、ソレヲ除外ス

レバ矢張リ一般ノ株券ヲ持ツテ居ルナリ、他

ノモノヲ持ツテ擔保ニスルノデ、多少ノ性質

ハ違ツテ居ツテモ、結局擔保ノ價値ハ相當矣

テ差支ナイト思ヒマスガ、今貸出シシヤウ、

私ハ恩給ハ餘りソンナ風ニ便宜ニ解釋シナ

イ方ガ宜イト思ヒマスガ、若シ便宜ニバカ

コトハ少シモ顧ミラレナイ、受給者同志ノ

連絡ト云フモノハ殆ドナイノデゴザイマス、

是等ハ矢張リ餘程將來ノ問題トシテ考ヘナ

ケレバナラナイノデ、國家トシテモ恩給ナ

リ年金ナリヲ給シタ以上ハ、矢張リ將來何

處迄モ或程度面倒ヲ見テ行ッテヤル必要ガ

アル、サウ云フヤウナ機關トシテモ矢張

リ恩給金庫ノヤウナ一ツノ組織ガ出來ルコ
トガ宜イノデヤナイカ、私共ノ狙ツテ居リマ

ガ入ラナクナル譯デス、併シ此ノ人ガ他日

又再ビ途中デ就職シタコトヲ辭メテ、又恩

給ヲ貰ヘルヤウニナツタラ、其ノ時ニハ恩給

金庫カラ再ビ貰フ時ノ恩給金ニ矢張リ及ス

コトガ出來ルノデセウカ、二十八條ノ意味

デスガ……

○政府委員(高木三郎君) 其ノ積リデ居リ

マスガ、再就職ヲ致シマシタ場合ニ、恩給ヲ

停止セラレマスノデ、是ハ無論官廳ノ場合

デスガ、其ノ場合ニハ俸給ノ中カラ辨濟ヲ

受ケルコトガ出來ルト云フ規定ヲ置キマシ

テ、再就職期間中ハ俸給カラ辨濟ヲ受ケル、

其ノ後ニ於テ再ビ退職致シマスベ、退職

後ノ恩給中カラ控除スルヤウニ致シタイト

考ヘマス

○濱口儀兵衛君 ソレハ分リマシタ、モウ

一つ事業計畫概要ノ中ニ補償料デスガ、新

契約者ノ失權率ガ平均年三分トシテアル、

シ此ノ問題ヲ何時マデ申上げテ居ツテモ切

リノナイ話デアリマスカラ、是デ措キマシ

テ、チョット條文ノ中ニ分ラヌコトガアルノ

ハ公募シタ、併シ現在ノ情況ハ申込ニ對

シテ相當ナ制限ヲ加ヘナケレバト云フヤウ

ナ御話カラ拜察致シマシテ、資金ニ應募ス

ル情況ハ大變好況ノヤウニ伺ヒマスノデ、

大變結構ナコトト思ヒマス、ソコデ私、斯

ウ云フコトヲ考ヘルノデスガ、大體此ノ立

法ト云フモノハ公益のモノデモアリ、又

營利のモノデモアリ、結局是ハ中間的ナ

性質ヲ持ツテ居ル爲ニ特別法ニナツタノデ

アリマスガ、斯ウ云フ性質カラ考ヘテ見マ

シテモ、亦自給自足ト云フヤウナ觀念カラ

考ヘテ見マシテモ、又共濟ト云フヤウナ意味カラ考ヘテ見マシテモ、精神的ノ方面カラ考ヘテ見マシテモ、此ノ資金ニ出資セシケレバナラヌノデハナイカ、唯單ニ利殖ト云フ目的カラ來タモノデモイカナシ、結局是ハ恩給ノ受給者ニ向ッテ優先應募ノ權利ヲ與ヘルト云フコトガ非常ニ宜クハナイカト思フノデアリマス、況シテ一口百圓ノ出资デモアリマスカラ……唯困難ナコトハ出资者總會ト云フヤウナモノガアリマシテ、總會ナドハ手續ガ面倒デアリマスケレドモ、併シ是ハマア委任狀ニ依ッテモヤレルコトデアリマスカラ、恩給受給者ニ對シテ幾口マデハ應募ノ優先權ヲ與ヘルト云フヤウナコトガ、非常ニ恩給金庫設立ノ目的カラ言ッテモ宜クハナイカト斯ウ考ヘルノデアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ

此ノ公益的ノ性質ト云フコトハ一體何處ニアルノカト云フコトヲ詮ジ詰メマスト、結果局制限以上ノ貸付ヲスル所ニアルノデハナイカ、所謂老齢者トカ弱體者ニ對シテノ金融ガ今特別ノ金融業者……是ハ寧ロ高利貸ト申シタラ宜イノデセウカ、惡辣ナ金融業者ト言ヒマスカ、サウ云フ方面カラ非常ニ虐メラレテ居ルノデアリマスガ、其ノ方面ニ代ル必要ガアルノデアリマシテ、且又最モ受給者ノ不便ヲ感ジテ居ル所デアッテ、之ヲ救濟シヨウト云フ所ニ、所謂何回モ仰セニナツテ居ル最終ノ目的ハ、受恩給者ノ良キ相談相手ニナルト云フ、所謂公益的ノ目的ニ合致スルモノデアルカノヤウニ拜承スルノデアリマス、サウ致シマスト、ドウシテモ此ノ但書ト云フモノハ必要ガ起ツテ來ルノデハナイカ、所謂扶助料ヲ以テ之ヲ辨償スルト云フ所ニ、三年ニ限ラレナイ五年ト云フヤウナ延長モ起ツテ來ルシ、所謂色々相談ヲ受ケルナリ、要スルニソコニ救濟ト云フ目的モアリ、公益的ト云フ性質ヲ持ツテ居ルノデハナイカ、政府委員ノ答辯中ニ之ヲ取除ケラレテモ致命的ナ打撃ヂヤナイト云フコトヲ仰セラレマスケレドモ、公益的ノ性質ト云フ御説明カラ行クト、段々衆議院

ニ於ケル質疑應答ヲ全部拜讀致シマスト、
私ナドモ左様ニ感ズル、之ヲ取ラレマスト、
所謂公益的ノ性質ヲ強調シテ居ラレル點ニ
付テハ、致命的ナ打撃デヘナイカト思フノ
デアリマスガ、ドンナモノデアリマセウカ
○政府委員(高木三郎君) 實ハ御説ノ通り、
此ノ但書ノ規定ヲ活カシテ行キタイト云フ
風ニ考ヘテ居ツタノデスガ、衆議院ニ於キマ
シテハ此ノ但書ヲ濫用サレル虞ガアルト云
フコトデ、其ノ點モ私共縷々サウ云フコト
ガナイノダト云フコトヲ御説明シタノデス
ケレドモ、ドウモ御了解ガ行カナカッタラ
シイノデアリマス、ソレデ此ノ但書ヲ取り
タイト云フ御話デアリマシタノデ、マア修
正ヲサレタ譯デアリマスガ、ドチラカト申
シマスト、矢張リ但書ガアリマシタ方ガ宜
シイト思ツテ居リマス、今回ノ修正案ニ付キ
ラモ意見ヲ申上ゲタノデアリマスガ、大體
ニ於テ修正ヲ受ケマシタ箇所ニ付キマシテ
ハ、ソレガアル爲ニ此ノ金庫ノ事業ノ根本
ヲ覆スト云フ程ノ修正デハナインデアリマ
シテ、大局カラ考ヘテ見テ小サナ修正ダ
ト云フ風ニ考ヘマシタガ、扱テソレデハ實
質的ニ考ヘテ修正ガ宜イカ悪イカト云フ問
題ニナリマスト、私共必ズシモ其ノ修正

ニ全部賛成ハ致サナインデアリマス、但テハアル方ガ無論宜シイト思ヒマス、唯衆議院ノ大多數ノ意見トシテ、是ガ無イ方ガ宜イト云フコトデ修正ヲサレタノデアルナラバ、尙貴族院ニ廻ヅテカラノ御意見ヲ伺フコトニシヨウト云フコトデ、政府ト致シマシテハ之ニ對スル贊否ヲ留保致シテアリマス、ソレデゴザイマスカラシテ私共モ、此ノ修正ガ無クナレバ非常ニ結構ダト思ヒマス、又是ガ此ノ儘削除サレタトシテモ、大局ニ影響ヲ及ス程ノ大キナ問題デモナイ、詰リ之ガ爲ニ此ノ金庫法案ヲ犠牲ニスル程ノ大問題デモナイト云フ程度ニ考ヘテ居リマス

但書ガ消エテモ他ノ方法デサウ云フ者ニハ
便宜ヲ圖ル考ヲ有ッテ居ルト云フ 御答デア
リマシタカラ、ソレデ結構ダト思ヒマスガ、
其ノ點ヲ……

○野村徳七君 只今委員長ノ御述べニナリ
マシタコトニモ誠ニ御同感デアリマシテ、私
ハ衆議院ノ之ヲ削ラレタコトハ甚ダ遺憾ニ
思フノデアリマス、其處マデ行ッタ、老年ニナツ
タ人トカ或ハ弱體者ニ對シテ、ソレデハ保険
證書ヲ持ツテ來クラ宜クハナイカト云フ御說
モアルヤウデアリマスガ、サウ云フ人ハ保険
證書ヲ取レナイ、又保險會社モ相手ニシナ
イ、斯ウ云フコトナドモ十分考慮スル餘地
ガアルノデハナイカト考ヘマス、尤モ金融業
者ノ手デ貸出サレテ居リマス中デ、信用組
合ト云フヤウナモノモ御認メニナツテ居リ、
產業組合ノ貸出ナドモ御認メニナツテ居ル、
サウシテ隨分惡辣ト認メラレルヤウナ方面
ニハ、ソレニ對シテ聊カ懲罰的ナヤウナ手
段モ御執リニナツテ居ルノデアリマスガ、併
シ此ノ金庫ガ成立シマスレバ、恐ラク只今
アリマスル恩給擔保ノ貸付ト云フモノハ、
大部分肩替リセラレルモノトハ信ジマス、
ソレハ事實ヲ見マシテモ可ナリ相當ノ便宜
ヲ與ヘテ居ルヤウデアリマスケレドモ、此
ノ金庫ハ大體六分デアリマスシ、ソレカラ

三分ノ補償料ヲ御取リニナリマスケレドモ、ソレヲ三年ニ割ツテ計算シナケレバナラヌト思フノデアリマス、最初ニ一遍ニ三分御取リニナルノヂヤナイカト思ヒマス、此ノ計算ヲ見テモサウ出テ居リマス、新規ノ貸付ニ對シテ三分御取リニナル、アトハ六分ノ利息ヲ御取リニナルヤウニ見エマス、強ヒテ高イモノデハナイト思ヒマスガ、現在ノ有ラユル恩給擔保ノ貸出ト云フモノハ之ニ整理サレテ來ルト云フコトヲ私ハ信ジマスガ、併シナガラソレハ矢張リ公益的デアルカト言ヘバ、ソレニハ矢張リドウモソレヲ以テ公益ト云フコトハ言ヘナイト思ヒマス、矢張リソレニハ營利的ナ觀念ナリ計算ナリガ大部分併ウテ居ルノヂヤナイカト思ヒマス、旁、公益ト云フ點ハ今ノ但書ノ方ニ餘程重キガ置カレテ居ルノヂヤナイカトスウ考ヘマス、今一ツ考ヘマスノハ、此ノ恩給ヲ有ツテ居ル方々ト云フモノハ、普通ノ國民ヨリハ皆相當ナ名譽ヲ有ツテ居ラレ、地位モアル人デアル、斯ウ云フコトハ矢張リ疑ヒハナイト思ヒマス、矢張リ金ヲ借リルト云フコトハ、況シテ此ノ恩給證書ヲ以テ金ヲ借リルト云フコトハ、是ハ決シテ名譽ナコトデナイ、矢張リ憚リアルコトト、又憚

リアルモノトシテ取扱ハレテ居ルノデアリ
ヤウニ、金利ノ負擔トカ、恩給證書ヲ以テ
融通シマスル負擔ガ輕減サレタ爲ニ、唯金
庫ニ集マッテ來ルト云フコトダケデハ少シ
其處ニ物足リナイノヂヤナイカ、結局是ニ
ハ金庫ト云フモノガ成立シマシテモ、其ノ
金庫ノ取扱上カラ申シマシテ、祕密ヲ嚴守
スルト云フコトガ非常ニ大切ナコトヂヤナ
イカト思ヒマス、其ノ言葉ガ何處ニモ今日
迄現レテ居ラナイ、デ信用組合ノヤウナモ
ノモ認メテアルト云フコトハ、現ニ恩給貸
付ヲヤッテ相當眞面目ニ取扱ヲ認メルト云フヤ
ト云ヒマスカ、是デ取扱ヲ認メルト云フヤ
合ノ如キ、其ノ支所ト云ヒマスカ、出張所
構ダト思ヒマス、併シ其處ニ此ノ金庫ノ貸
出ト云フコトニ對シテハ、取扱上人名ヲ
決シテ漏サナイトカ何トカ云フ祕密ヲ嚴守
スルト云フコトガ非常ニ大事ナコトデアツ
ルト舉ゲナイトハ、祕密ヲ嚴守スルカシナ
テ、同時ニ金庫ノ成績ニ非常ニ關係スルコ
トト思フノデアリマス、金庫ガ實績ヲ擧ゲ
イカト云フ所ニ大キナ重點ガ置カレテ來ル
ノデヤナイカト斯ウ考ヘマス

他ニ於テ實際御取扱ニナツテ居リマス例カ
ラ伺ヒマスト、金ヲ借リマス方ノ側ハ體面
テ特殊ノ取扱ヲサレテ居ルヤウデアリマス
恩給金庫ニ付キマシテモ其ノ點ハ十分考慮
致ス積リデ居リマス、法文ノ上ニ別段祕密
嚴守ト云フヤウナコトハ書イテアリマセヌ
ガ、實際ノ扱ヒ上ニ於テ十分其ノ點ヲ注意
致シマスト同時ニ、恩給金庫ニ於テハ擔保
マスカラ表面的ニハ恩給金庫ガ代理受領ヲ
理受領モ扱フ豫定デアリマス、ソレデアリ
ノ目的ヲ以テスル代理事務ノ外ニ單純ナ代
致シマシテモ、擔保金融ノ目的デアルカナ
イカト云フコトハ、對外的ニハ分ラナイト
云フ結果ニナルト思フノデアリマス、擔保
ノ目的ニアラザル代理受領ハ、是ハ受領
者ノ利便カラ申シマシテ非常ナ大キナモノ
ト考ヘマス、將來ハ此ノ單純ノ代理受領ガ
相當ノ件數ニ上ルダラウト思ヒマスガ、ソ
レハ年金恩給ヲ御持チニナツテ居ル方ハ、其
ノ點ハ能ク痛切ニ感ゼラレルコトダラウト
思ヒマスガ、年金恩給ニ關スル手續ハ可ナ
リ面倒ナノデアリマス、殊ニ扶助料ノ如キ
ハ大部分老年者、婦女子デアリマスカラ、

年金ノ請求デアリマストカ、或ハ受給者ノ
請求検證ノ爲ニスル戸籍謄本提出ト云フヤ
ウナ手續ガ相當煩雜デアリマシテ、今デモ
可ナリ困ツテ居ラレルダラウト思フノデアリ
マス、金庫ニ代理ヲ委託ヲサレレバ、ソレ
等ノ手續ヲ總テ金庫ガ代理致シマスノデ、
受給者側デモ非常ニ手數ヲ省カレルト思ハ
レルノデアリマス、是ガ大部分行ハレル
コトニナリマスレバ一層擔保ノ目的ヲ以テ
スル代理受領トノ間ノ限界ガ非常ニ不明瞭
ニナッテ來マシテ、對外的ニハ或點ノ「カモ
フラーデュ」ガ出來ルノデハナイカト云フ
風ニ考ヘテ居リマス、尙實際ノ取扱ニ付キ
マシテハ祕密ノ嚴守ト云フコトハ十分ニ注
意ヲ致シマス

○男爵前田勇君 チヨット今ノニ關聯シマ

シテ……今ノ代理受領ノ御話ガ出マシタガ

此ノ代理受領ハ恩給證書ヲ擔保ニ入レテ置

イテ、ソレガ相當ニ、此ノ恩給證書ガ返ツテ

來ナイカラ、證書ノ提出ガ出來ズニ金庫ニ

代理受領ヲ御賴ミシテ、コチラノ方デ自分

ノ仲介料ト云フヤウナモノデモ取ラウト云

フヤウナコト迄モオヤリニナルノデゴザイ

マセウカ。

○政府委員(高木三郎君) 單純ナル代理受

領ハ、矢張リ證書ノ寄託ヲ受ケル積リデア

マス場合ハ、矢張リ再度證書ノ交付ヲ受ケ

マシテ居リマス

○野村德七君 サウ云フ御考デアレバ大變
結構ニ思フノデアリマス、サウデゴザイマ
セヌト云フト、矢張リ此法律上擔保ニ取ル
コトヲ得ナイト云フコトガ制定サレテ居リ
マシテモ、私ハ先程申シマスルヤウニ、此
受給者ノ金融ノ中ニハ外聞ヲ憚ルト云フモ
ノガ恐ラク大部分デアラウト思ヒマス、所
謂惡質トカト云フヤウナコトハ極メテ小部
分デアル、其ノ爲ニ矢張リ從來ノ金融業者
ガ活動スル餘地ガ、此ノ祕密ガ保タレマセ
ヌト相當アルノデヤナイカト思ヒマス、其
ノ點ヲ非常ニドウモ懸念致シマスノデアリ
マス

○子爵大河内輝耕君 野村サン、モウ御濟

ミニナリマシタカ、宜シウゴザイマスカ

○野村德七君 ドウゾ

○子爵大河内輝耕君 私ハ二三點伺ヒタイ

ノデスガ、此ノ衆議院ノ方デ修正ニナリマ

シタンデ、外ノ機關ヲ利用スルト云フコト

タコトモアルノデアリマス、郵便局ヲ利用

シテ、郵便局デ取扱ハセルト云フコトモ確

利一害ガゴザイマシテ、今直チニ郵便局ト

リマス、從ツテ若シ證書ノ回収不能デアリ

マス場合ハ、矢張リ再度證書ノ交付ヲ受ケ

マシテカラ後デナケレバ取扱ハナイコトニ

致シテ居リマス

○政府委員(高木三郎君) 此衆議院ノ修正

議院デナサレマシタガ、實際ノ事情カラ申

シマスト、產業組合等ニ代行機關ヲ認メテ

貰ヒタイト云フ話ガ最初デアッタノデアリ

マス、ソレニ對シマシテハ先日來申上ガマ

シタヤウニ、代行機關ト云フコトハチヨツ

ト困ル、取扱機關トシテナラバ其ノ點ハ

此方カラ進ンデ御願ヒシナケレバナラヌ

ト思ツテ居ル、ソレナラバ此ノ際其ノコトヲ

明カニシタ方ガ宜イダラウト云フノデ、此

ノ規定ヲ修正サレタノデゴザイマス、ソレ

デゴザイマスカラ大體只今考ヘテ居リマス

ノハ、既存ノ產業組合其ノ他ノ機關ト云フ

積リデアルノデアリマス、ソレヲドウ云フ

機關ヲ利用スルカト云フコトニ付キマシテ

ノマダ具體的ノ案ハ持ツテ居ラナイノデス、

スカ

○政府委員(高木三郎君) 只今ノ御尋ニチ

ヨツト失念シテ居リマシタガ、補償料ノ中、

正確ニ申シマスト一般的補償料ト申シマス

カ、各部ヲ通ジタ補償料ガアルノデアリマ

ス、ソレハ死亡以外ノ原因、例ヘバ離籍デ

アリマストカ、犯罪デアリマスト云フヤウ

ナ失格原因ガアルノデスカラ、ソレニ對ス

ル補償料ヲ大體一分ト見テ居リマス、後ノ二分ヲ純保険料ト云フ風ニ考ヘマシテ、生命ニ對スル補償料ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデゴザイマスカラ一般的ノ補償料ト云フモノハ大體年一分程度デ當初纏メテ行ク積リデアリマス、ソレカラ保険料ニ相當スルヤウナ残リノ補償料ニ付キマシテハ、生命保険證書ヲ提示シタ場合ニハ全然取ラナイ、ソレカラ生命保険證書ヲ提示シナイ場合、此ノ場合ニ於テハ其ノ人ノ年齢ニ應ジテ差ガアリマシテ、或場合ニ於テハ一分ノ分ノコトモアリ、或場合ニ於テハ一割以上ニナコトモアリ、或場合ニ於テハ一割以上ニナルヤウナ場合モアラウト考ヘマス、ソレハ死亡生殘表トノ關係上定ッテ來ル譯デアリマス、從ツテ豫算ニハ平均年三分ヲ計上シテ居リマスガ、各人別ニ考ヘレバ相違ガアル、ソレデ其ノ計算ニハ一年分ヲ全部計上シテ居リマス

○深井英五君 私ノ御尋ネシタノトハ御答ガ、要點ガ違ヒマスノデ、私ハサウ云フコトヲ伺ツタノデナインデアリマス、ソレデ更ニ他ノ半面カラ同ジコトアリマスガ伺ヒマス、此ノ恩給金庫計畫概要及恩給金庫收支明細表ト云フモノノ十二項ノ「一年ニ對シ平均三分ノ補償料ヲ貸付ニ際シ一時ニ微

收ス」ト云フコトデスガ、此ノ通リニ了解シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(高木三郎君) 左様デゴザイマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(高木三郎君) 大體貸付ノ方法期ニ控除スル豫定デアリマスノデ、只今御マスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○野村德七君 今ノ深井委員ノ御質問ニ關聯シテ居リマスノデ、此ノ表ヲ拜見シマスト、此ノ補償料ト云フモノハ新規貸付金ノ總額ニ對シテ約九分ヲ乘ジタモノガ、茲ニ大概ノ場合ニ出テ居ルノデアリマス、新規貸付ト云フコトニ對シテ九分ヲ掛ケタ、其ノ三分ノ三年分ヲ掛ケタ、サウ云フモノガ始終茲ニ現レテ居ルノデ、假ニ第一年度カラ見テモ、新規貸付金ガ三千二百三十六萬圓、サウシテ補償料ノ收入ガ二百九十一萬コンナ數字ニハナラナイ、九十萬圓程ノモノニナル、是ガ所謂三分ノ三箇年分ヲ一時ニ茲ニ收入サレタヤウナ風ニ出テ居リマス

○深井英五君 私ノ御尋ネシタノトハ御答ガ、要點ガ違ヒマスノデ、私ハサウ云フコトヲ伺ツタノデナインデアリマス、ソレデ更ニ他ノ半面カラ同ジコトアリマスガ伺ヒマス、此ノ恩給金庫計畫概要及恩給金庫收支明細表ト云フモノノ十二項ノ「一年ニ對シ平均三分ノ補償料ヲ貸付ニ際シ一時ニ微

○政府委員(高木三郎君) 何分ト申上ゲテ

○野村德七君 モウ一つ伺ヒタイ、極ク概念的ニ大體何分ニナリマスノデスカ

○野村德七君 申上ゲタノデゴザイマスガ、ソレカラ補償料カラ申シマスレバ一般的ニハ一分ニナル譯デゴザイマス、ソレカラ生命保険ノ證券ヲ提示シナイ場合ニハ別ニ純保険料ニ相當スル補償料ヲ別ニ徵收スルコトニナルノデ、其ノ額ハ年齢ニ申上ゲマシタヤウニ金融方面ノ専門ノ御方カラ御覽ニナルト、非常ニ寧ロ滑稽ナヤウナ表デアラウト考ヘマスケレドモ、唯當初計畫致シマシタ私共ト致シマシテハ、所謂リマスノハ平均ヲ計算シテ居ル譯デゴザイマス

○野村德七君 此ノ表ヲ可ナリ拜見シタノタ爲ニ、先程私ア、云フ質問ヲシマシタガ、デスガ、ドウモ能ク分ラナイノデ、餘程能者モ安全率ト云フコトノミニ考ヘテ置イタモノデゴザイマスカラ、非常ニ不十分ナ表モノヲ最後ノ十年目ニハ十一年、十二年分モ此處へ取ツテ居ルノデハナイカ、サウスレバ永久ニ此ノ金庫ガ續ケバ宜イノデスガ、思ヒマスガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(高木三郎君) 大體貸付ノ方法期ニ控除スル豫定デアリマスノデ、只今御マスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○野村德七君 申上ゲタノデゴザイマスガ、ソレカラ補償料カラ申シマスレバ一般的ニハ一分ニナル譯デゴザイマス、ソレカラ生命保険ノ證券ヲ提示シナイ場合ニハ別ニ純保険料ニ相當スル補償料ヲ別ニ徵收スルコトニナルノデ、其ノ額ハ年齢ニ申上ゲマシタヤウニ金融方面ノ専門ノ御方カラ御覽ニナルト、非常ニ寧ロ滑稽ナヤウナ表デアラウト考ヘマスケレドモ、唯當初計畫致シマシタ私共ト致シマシテハ、所謂リマスノハ平均ヲ計算シテ居ル譯デゴザイマス

○野村德七君 此ノ表ヲ可ナリ拜見シタノタ爲ニ、先程私ア、云フ質問ヲシマシタガ、デスガ、ドウモ能ク分ラナイノデ、餘程能者モ安全率ト云フコトノミニ考ヘテ置イタモノデゴザイマスカラ、非常ニ不十分ナ表

デ申譯ナイノデス、併シナガラ此ノ實行ニ當リマシテハ何レ設立委員會ガ出來マシテ、設立委員ノ方ニ於テ詳細ナル事業計畫ヲ御立テヲ願フ積リデアリマス、大體茲ニ差上ゲマシタノハ、マルキリ計算ノ基礎ガナクテハト云フコトデ、ホンノ御参考ニ差上げタモノニ過ギナイノデゴザイマス、表ガ甚ダ不十分デアリマスコトニ付テハ、當務者ニアリマス私共ノ方カラ十分御詫ヲ申上げナケレバナラスト思ヒマス、何分ドウゾ宜シク御諒承ヲ願ヒマス

○委員長(三井清一郎君) 恩給法ノ兩案ノ質疑ハマダ若干殘ツテ居ルカモ知レマセヌガ、最後ニ廻シマシテ、是カラ庶民金庫法案、無盡業法中改正法律案ノ政府當局ノ御説明ヲ求メマス

○政府委員(入間野武雄君) 庶民金庫法案及無盡業法中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス、先づ最初ニ庶民金庫法案ニ對シマシテ其ノ大略ヲ御説明致シマス、庶民金庫ノ目的ニ付キマシテハ本會議ニ於キマシテ御説明申上ゲマシタ通り、既設金融機關ナドニ依リマシテハ十分ナル金融ニ惠マレ得ナカッタ階級、就中中小產業者及勤勞所得者等ニ對シマシテ、對人信用ニ依ル小口金融ノ圓滑ヲ圖リ、以テ其ノ生

活ノ安定ニ資セムトスルニアルノデアリマス、此ノ目的ヲ達成致シマス爲ニハ、本金庫ハ純然タル非營利ノ特殊法人トシ、資本金一千萬圓ハ其ノ金額ヲ政府出資トシ、剩餘金ノ配當ハ之ヲ行ハナイト云フコトニ致シタノデアリマス、本金庫ノ貸付資金ハ、ナケレバナラスト思ヒマス、何分ドウゾ宜シク御諒承ヲ願ヒマス

○委員長(三井清一郎君) 恩給法ノ兩案ノ質疑ハマダ若干殘ツテ居ルカモ知レマセヌガ、最後ニ廻シマシテ、是カラ庶民金庫法案、無盡業法中改正法律案ノ政府當局ノ御説明ヲ求メマス

○政府委員(入間野武雄君) 庶民金庫法案及無盡業法中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス、先づ最初ニ庶民金庫法案ニ對シ其ノ貸付資金ヲ融通シ、又ハ其ノ貸付ニ付テ損失補償ヲ行フコト、本金庫ト取引ヲ有スル者ノ預金ヲ受入レマスルコト、及び以上ノ業務ニ附隨スル業務ニ限定シ、専ラ庶民金融ヲ圓滑ナラシメルコトニ努力セシムルコトニ致シタノデアリマス、本金庫ノ主タル事務所ハ之ヲ東京ニ置ク豫定デアリマスガ、其ノ業務ヲ出來ル限り速カニ普及徹底セシメマスルガ爲ニ、差當リ大阪ニ支所ヲ、又必要ニ應ジマシテ各所ニ出張所ヲ設置致シマスル外、銀行、無盡會社、市

又給付金限度貸付ノ總額ニ對スル法定制限ヲ廢シ、之ニ代フルニ擔保又ハ保證ニ關スル規定ヲ設ケマスル等ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、尚是等ノ改正ニ伴ヒマシテ猶豫期間其ノ他ノ經過規定ヲ設クルコトト致シタ次第デゴザイマス、何卒十分御審議ノ上、政府原案ニ御賛成アラムコトヲ次第デアリマス、以上ハ政府カラ提出致シトニ致シタノデアリマス、其ノ發行限度ハ拂込資本金ノ十倍トシ、預金部其ノ他ニ於キマシテ之ヲ引受ケ、之ニ依リ資金ヲ低利ナラシメルコトニ努メル方針デゴザイマス、次ニ本金庫ノ業務ハ小口信用貸付ニ重點ヲ置キマスルコトハ申ス迄モナイ所デアリマスルガ、尙他ノ金融機關ガ本金庫ト同様ノ貸付ヲ行ヒマス場合、該金融機關ニ對シ其ノ貸付資金ヲ融通シ、又ハ其ノ貸付ニ付テ損失補償ヲ行フコト、本金庫ト取引シテ居ラナイノデゴザイマス、次ニ無盡業法ノ官吏タリシ者ハ退職後五年間庶民金庫ノ理事長、理事及監事タルコトヲ得ザル旨ノ規定ヲ設ケマシタ、政府原案ニ對スル右衆議院ノ修正ニ付キマシテハ、政府ハ同意致シテ居ラナイノデゴザイマス、次ニ無盡業法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、本改正案ハ大體過般本會議ニ於テ御説明申上ゲマシタ通り、無盡會社ノ信用ノ向上ヲ圖リ、且益其ノ機能ヲ發揮セシメマスルコトヲ目標ト致シタノデアリマシテ、之ガ爲イマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ恩給金庫ニ付テ少シ質問致シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(三井清一郎君) 宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ先程野村委員竝ニ深井委員カラ御質問ガゴザイマシタガ、私モ此ノ表デハ少シ疑問ヲ持シテ居ル、今政府委員カラ御説明ガアリマシタガ、其ノコトヲ頭ニ置イテ御尋ネ致シマスカラ、其ノ御積リデ御答ヘ下サレバ宜シイ、其ノ補償料ト云フモノハ一分ハ分リマシタガ、二分外ノ方ハ二分ト仰セラレタノデスガ、二分ハ平均二分ナンデスカ

○政府委員(高木三郎君) 平均二分デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト最高幾ラデ最低幾ラトナツテ居リマスカ

○政府委員(高木三郎君) マダ其ノ點ニ付キマシテハ、正確ナ計數ハ出來テ居ラナイ

ノデゴザイマスガ……

○子爵大河内輝耕君 其ノ歩合ハ主トシマテ年齢ニ依シテ御定メニナリマスカ、マダ外ニモ條件ガゴザイマスカ

○政府委員(高木三郎君) 其ノ平均二分ノ、生命ニ對スル危險ニ對シマシテハ主トシテ年齢デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 先程アノ、實績デアリマシタカ、ソコヲハッキリ伺ヒマセヌデシタガ、三分トシタ根據ハ二分九厘一毛ト云フ譯デ、失權率ガ出テ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ實績デゴザイマスカ

○政府委員(高木三郎君) 實績デゴザイマス、昭和十一年末ニ於ケル現在人員ニ對スル各年齡別ノ失權率ノ平均デゴザイマス、ソレデゴザイマスカラシテ大體申上ゲマスト、各扶助料ニ付テ申上ゲマスト、二十歳ニ於テハ一分五厘六二五デアリマス、ソレガ六十歳ニナリマスト二分〇五一四ニナリマス、七十歳ニナリマスト四分八厘ナニガシニナリマス

○子爵大河内輝耕君 ソコデ扶助料ノ方ハ何レ御定メニナルコトシテソレニシテ置キマスガ、徵收ノ點、一分八年々取ル、アトノ所謂二分ニ當ルモノハ色々御定メニナルノデアリマセウカ、ソレトモ年々徵收サ

レルノデゴザイマスカ

○政府委員(高木三郎君) 其ノ點ハ全部當初取ル積リデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト一年ニ對シテ假ニ二分トスレバ初メノ年ニ六分御徵リニナリマスカ、三年ノ場合ハ……

○政府委員(高木三郎君) 左様デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ一分ノモノハ年々御取リニナリマスカ

○政府委員(高木三郎君) ソレモ最初ニ取ル豫定デアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレカラ此ノ貸付金額ガ、茲ニ表ニ上ツテ居リマスルネ、第一年三千二百萬圓デスガ、ソレダケ出テ居リマスガ、是ハドウ云フ根據デ御定メニナッタノデ

○政府委員(高木三郎君) 別段根據ト申上ゲル程ノモノハナイノデアリマスガ、大體五千程度ノ者ガ來ルグラウト云フ見込ニ過ぎナインデアリマス

○子爵大河内輝耕君 私素人デ能ク分リマヌガ、斯ウ云フコトハ見込ガ外レテハ成立アリマス、モウ一遍申上ゲマセウカ、恩給タナクナツデシマフト思ヒマスガ、何カ茲ニ専門ノ方ニ御尋ニナルトカ、又ソレガナク所モ十分當局ノ方デ御研究ニナツテ、確實ナトモ十分當局ノ方デ御研究ニナツテ、確實ナ

○子爵大河内輝耕君 居リマス、此ノ表ノ二ニ資金移動關係ト云フノガゴザイマス、ソコノ第一年ト云フ所ニ新規貸付金ト云フノガゴザイマス、其ノトスウアリマス、之ヲ指シテ居ルノデアリガ、實際問題ト致シマシテハ軍人後援會等

○子爵大河内輝耕君 第一年ノ所ノ數ガ三千二百三十六萬四千圓

○政府委員(高木三郎君) 貸付金ハ大體平均ノ恩給年額ヲ三百五十六圓五十錢ト致シマシテソレノ三年分、一千六十九圓五十錢、ソレヲ第一年ニ於キマシテハ恩給局所管ノ恩給ノ受給者總數ノ約五分ヲ掛ケマシタノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト五分ダケハ金ヲ借りリニ來ル者ト御認メニナッタノデスカ

○子爵大河内輝耕君 ソレカラト風ニ考ヘテ居リマスカ

○政府委員(高木三郎君) 別段根據ト申上ゲル程ノモノハナイノデアリマスガ、大體五千程度ノ者ガ來ルグラウト云フ見込ニ過ぎナインデアリマス

○子爵大河内輝耕君 之ニ對スル資金ノ準備ハ無論差支ナイノデスナ

○政府委員(高木三郎君) 資金ノ準備ニ付テハ相當政府ハ持ツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ全部出資金ト云フ譯デモナイ、政府ノ債券カラ出シテ、預金部其ノ他カラデモ金ヲ取ル譯ニナルノデセウナ、大體ドウ云フ御見込ミデアリマスカ、ソレハ債券デスト……

○政府委員(高木三郎君) 一部分ハ拂込出资金ヲ利用致シマスガ、拂込出資金ヲ運用

資金トスルコトハ實ハ例外ト致シタイト思ヒマス、大體ハ借入金並ニ恩給債券ニ依ツテ支辨ヲ致シテ行キタイト云フ考デアリマス、只今ノ處預金部、簡易生命保険ノ運用金、生保、證券會社、官業共濟組合其ノ他カラ初年度必要ナ運用資金ハ十分得ラレルト云フ大體ノ成算ヲ持シテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ資金ハ何分位御取りナリマスカ

○政府委員(高木三郎君) 是ハ庶民金庫トノ關係モゴザイマスノデ、大體庶民金庫ト歩調ヲ一致サセタイト考ヘマスガ、豫算ニハ四分五厘ト計上致シテ居リマス、併シナガラ實際問題ト致シマシテ、四分二三厘程度デ借リラレルヤウニ致シタイト思ヒマス、其ノ結果貸付利率ガ幾分デモ低下出來ルヤウニト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 尚政府委員ハ私ノ申シタ恩給金庫計畫概要及恩給金庫收支明細表ヲモウ一度御覽ヲ願ヒタイノデスガ、二ノ資金移動關係、色々ノ計數ガアリマス、例ヘバ貸付回収金、貸付残高、又ハ貸付金利子、補償料、其ノ他ズット書イテアリマスガ、是ハ矢張リ新規貸付金三千二百萬圓、之ヲ基礎トシテ總テ算出サレタト考ヘテ宜シイノデスカ

○政府委員(高木三郎君) 御話ノ通リデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 私ノ質問ハソレデ……

○濱口儀兵衛君 今ノ第二ノ資金移動關係質問ガアッタヤウデスガ、是ハドンナ風ニ御考デスカ、此ノ表ハ先キ御話ガアッタ通り纏タモノデナイト云フ御話デアリマスガ、事業費ガ第一年デ百十二萬圓要ツテ、十年目ハ百三十四萬圓、二十萬圓位シカ殖エテ居ラナイノデスガ、初メノ貸出ガ二千八百萬圓デ、終ヒニ一億六千萬圓ニナッテ居ル、是ハ先程御話ニナッタ通り地方ノ信用組合トカヘソンナモノニ取扱フサストカ云フコトニナッタラ、ソンナモノノ費用モ要ツテ來ルト思ヒマスシ、ソレカラチョットドンナ風ノ仕組ニナルカ分ラヌデスケレドモ、一年目デ百十二萬圓要ツタモノデアッタラ、十年目ニ二十萬圓位ノ増加デ是ハ済ムモノナノデ

○政府委員(高木三郎君) 御話ニ付キマシテ、ソレヲ加ヘマシタモノガ此ノ初年度力ラ十年度迄ノ件數ニ出テ居リマス、事務費ノ點ニ付キマシテハ、衆議院ノ希望モアリマシタヤウニ、恩給金庫ノ本質カラ考ヘマシテ、出來得ル限り節約ヲ致シタイ、豫算ニハ斯ウ云フ風ニ計上致シテ居リマスケレドモ、出來得レバモット十分ナ節約ヲ致シテ行キタイト云フ考デ居リマスノデ、大體居リマス

○伯爵山田英夫君 前ニ大分御質問ガ出タルモアリマスケレドモ、此ノ恩給法ノ根本ノ精神ト云フモノヲモウ少シ御伺ヒシタイノデアリマスガ、ソレニ付テ先ヅ一つ伺ッテ置キタイノハ、只今モ御話ガアリマシタ此ノ法案ニ衆議院デ修正ニナッタ所デゴザイ

リマス、貸付件數ニ伴ハザルモノハ比較的事業開始ノ直後ニ額ガ多クナルト思ヒマス、初度調辦費等ガアリマスノデ、成ルベク節約致シマス積リデ居リマスガ、概シテ貸付件數ニ伴ハザルモノハ初年度ニ近イ方ガ多クナリマシテ、逐次之ヲ節約シテ減ラシテ行ク積リデ居リマス、第四年度以降ニ於テクナリマシテ、増サナイ積リデ居リマス、新規契約ノ件數ニ伴フモノ竝ニ貸付維持件數ニ伴フモノハ、是ハ逐次增加致シテ行キマスノデ、ソレヲ加ヘマシタモノガ此ノ初年度力ラナイノデスガ、初メノ貸出ガ二千八百萬圓デ、終ヒニ一億六千萬圓ニナッテ居ル、是ハ先程御話ニナッタ通り地方ノ信用組合トカヘソンナモノニ取扱フサストカ云フコトニナッタラ、ソンナモノノ費用モ要ツテ來ルト思ヒマスシ、ソレカラチョットドンナ風ノ仕組ニナルカ分ラヌデスケレドモ、一年目ニ二十萬圓位ノ増加デ是ハ済ムモノナノデ

○政府委員(高木三郎君) 衆議院デ此ノ修正ヲ加ヘラレマシタ理由ハ能ク存ジマセヌガ、聞ク所ニ依リマスト、電力會社其ノ他ノ法案ニモ是ト同様ノ條文ヲ入レタヤウデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ一應私共ノ方ニモ話ガアリマシタノデゴザイマスガ、電力會社其ノ他ノ法案ハ別ト致シマシテ、恩給金庫、庶民金庫ト云フヤウナ極メテ地味ナ、而モ専門的知識ヲ要スルヤウナ事業ニ於キマシテハ、矢張リ或程度ニソレノ経験ヲ有ツタ者ガ入ラナケレバ十分ナ經營ガ出来ナイノデハナイカ、ソレデゴザイマスカラシテ、若シ電力會社法案ノヤウニ、絶対ニ會社ニ官廳ノ人ハ入レナイト云フヤウナ條項デアルト致シマシタナラバ、事實動いて行カナイノデヤナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其ノ結果但書ヲ付ケ

マシテ、主務大臣ニ於テ特ニ必要ト認メタ
ル場合ニ於テハ此ノ限りニ非ズト云フコト
ヲ附加ヘラレタヤウニ伺ッテ居リマス
○伯爵山田英夫君 ソレデ此ノ間カラ恩給
亡國論トカ云フヤウナコトデ、成ルベク
恩給ヲ減スト云フヤウナコトガ御答ニ
ナツテ居ラレルヤウデ、其ノ點デアリマス
ガ、今ノヤウナコトモ實ハ裏面ニ於テハ
後進者ノ途ヲ拓クト云フヤウナコトデ、官
吏ノ如キ進ミ方、或ハ軍人ノ如キモノハ、
マダ使ヘル人ガ退職サレル、サウ云フ風ナ
方ノ詰リ行キ場所ニ入レルカラ困ルト云フ
ヤウナコトガマア裏面ニハアルラシイノデ
アリマス、ソレハ今ノ恩給ノ……實ヲ言フ
ト時代ニ伴ッテ殖エテ行ク、軍人ナリ、司法
官ナリ、其ノ他ノ文官ハ在職中自分ノ老後
ノコトナンカハ考ヘズニ、其ノ職務ニ熱心
ニヤラレテ居ル所デ尊イモノデアリマスカ
ラシテ、其ノ恩給ノ如キモノモ當然此ノ時
世ニ伴ッテ殖ヤシテ行ク、實際ニ於テ陸海軍
相違ガアルヤウデ、ソレヲマア例ヘテ見マ
セバ、今ノ世ノ中ニ一萬圓位ノ收入ガ無ケ
レバ、在職中ノ生活程度ヲ……勅任官以上
ダト相當ノ生活ヲスルト云フノハ御困難ナ

コトト思フ、ソレヲ六千以上ノ受恩給者ニ
付テハ停止スルト云フヤウナコトモ、昨日
大河内君ノ御質問モアリマシタガ、斯ウ云
フヤウナコトデ能ク行ッテ見マスト、是等ノ
者ハ先づ今迄貰ッテ居ラテ、夏休ミニハチヨッ
ト避暑スルトカ何トカ云フヤウナ費用ニ
モ使ッテ居ルシ、又寄附金ニモ使ッテ居ラ
タ、之ヲ停止サレタリスルト現状ニ於テ隨
分ソコニ御不自由ガアリハセヌカト思ッタ、
ソレカラ又是ハ近イ例デスガ、扶助料ナン
カラ貰ッテ居ラレル未亡人ノ方ガ、隨分年ヲ
取ッテ社會事業ナドニ關係シテ居リマスガ、
是等ノ方ガ其ノ御小遣ノヤウナ所カラ支出
シテ居ラレルコトガ少クナイ、當リ前ナラ
モウ隠居シテ居ラレルヤウナ方ガ、惰性デ
以テ社會事業ナドニオ出ニナル、ドウカト
思ッテ危ブム人ガ此ノ時世ダカラト云フノ
デ、電車ニ乗ッテ歩イテ居リマシタ、斯ウ云
フヤウナコトデ、恩給亡國論ト云フケレド
モ、其ノ貰ハレル所ノ恩給ナドト云フモノ
ガ、其ノ位置ニ依ッテ其ノ時ニ國家ノ爲ニ寄
附金ナンカニ御使ヒニナツテ居ルヤウナ狀
態デアル、サウ云フヤウナコトデアルカラ
シテ、全體ノ上カラ見タラ、是ハ非常ニ恩
給ノ高ガ殖エタツテ、其ノ半面ニ於テソレヲ
補フ爲ニ色々ナコトヲスルヨリモ、寧ロ昔

ノヤウニ其ノ恩給デ以テ悠々樂々トシテ居
ラレタ方ガ害ハ少イデハナイカ、所謂隱居
的ニサレタ方ガ……隱居カラ復戻シテ下手
ヲヤッテ、先程モ將官ガ妙ナ恩給ヲ利用シテ、
モヤウナコトノ例モ元モ子モ無クシタ云フヤウナコトノ例モ
仰シヤイマシタガ、是ナドハ矢張リサウ云
フ點カラ來ルノデハナイカ、ソレデアルカ
トシテ、今後ニ付テ恩給ト云フコトニ付テ、
局長トシテモット殖ヤシテ行クト云フヤウ
ナ御考ガ……今ノコトデハアリマセヌガ、
今後ニ於テ、時局デモ片付イタト云フヤウ
ナ場合ニハ、殖ヤスト云フヤウナコトノ御
考ガアリマスカ、モウ一つハ是ハ誠ニ善イ
事デアリマスガ、下ニ厚ク上ニ薄クト云フ
コトハ方々ニアル、是ガ當然我ガ國ノ家族
制度等モ親ガ子ノ爲ニ、上ノ者ハ下ノ爲ニ
厚クスルト云フノハ當然デアルガ、又反對
ニ下ノ者ガ上ノ者ニ對シテ、身ヲ犠牲ニシ
テ上ノ者ヲ扶助スルト云フノガ、我ガ國ノ
美點デヤナイカ、ソレガ斯ウ云フ時ニ成ル
要ガアルノデヤナイカト云フコトヲ常ニ考
ヘテ居リマス、現在デハ御承知ノ通り二分
ノ一、最高限二分ノ一シカ參リマセヌノデ、
現官ヲ離レマシテ、急ニ收入ガ半分ニ減ル
ト云フコトハ、全ク獲得能力ノ無クナル程
度マデ御奉公ヲシタモノカラ考ヘマシタラ、
必ズシモ多クハナイト思フノデアリマス、
ソレデアリマスカラ、理想論カラ申シマス
レバ、モウ少し之ヲ殖ヤス必要ハ私共アル
ト考ヘマシテ、大正十二年ノ恩給法改正ノ

ウシテ又恩惠モ長ク續クト權利トナルト云
フヤウナ御説明ガアリマシタガ、今現實ニ
於テ將官ニ薄ク佐官以下ニ厚クスル、誠ニ
良イコトデ皆嬉シクナルガ、是ガ長ク續ク
ト權利見タイニ考ヘテ、上ノ者ハドウデモ
宜イ、上ノ者ハ薄クシイテ宜イト云フヤウ
ナ考ガ起ル、ソレガ翻ツテ能ク言フ下剋上ト
云フ思想ガ起ツテ來ルノデヤナイカト云フ
憂ヲ持ツテ居リマスガ、其ノ點ハ如何デセウ
カ
○政府委員(高木三郎君) 只今ノ御尋ノ前
段ノ件ニ付キマシテハ、實ハ外國ノ事例等
ニ依リマスト、御承知ノ通り恩給ノ最高額
ヲ退職當時ノ俸給ノ四分ノ三程度ニ致シテ
居ルノガ多イノデアリマス、實際問題トシ
テハ、是非共少クモ其ノ程度マデ上ダル必
要ガアルノデヤナイカト云フコトヲ常ニ考
ヘテ居リマス、現在デハ御承知ノ通り二分
ノ一、最高限二分ノ一シカ參リマセヌノデ、
現官ヲ離レマシテ、急ニ收入ガ半分ニ減ル
ト云フコトハ、全ク獲得能力ノ無クナル程
度マデ御奉公ヲシタモノカラ考ヘマシタラ、
必ズシモ多クハナイト思フノデアリマス、
ソレデアリマスカラ、理想論カラ申シマス
レバ、モウ少し之ヲ殖ヤス必要ハ私共アル
ト考ヘマシテ、大正十二年ノ恩給法改正ノ

際ニモ、其ノ點ヲ實ハ研究シタコトガアリ
マス、恩給制度トシテ、若シソレガイケナ
イナラバ、一時賜金、退職賜金制度ナリナ
ドヲ立テマシテ、兩者ヲ合シテ少クモ最高
限現給ノ四分ノ三程度ニ行クコトガ理想チ
ヤナイカト云フ風ニ考ヘテ色々計畫モ致シタ
ノデアリマスガ、何分財政ノコトヲ考ヘマ
スト、平時ニ於テ二億ノ恩給ト云フコトハ、
可ナリノ負擔ダト思ヒマス、是モ國家躍進
ノ犠牲ダト考ヘレバ、ソレハ二億デモ三億
デモ國民トシテ堪ヘナケレバナラスト思ヒ
マスケレドモ、併シ是ガ平時ニナリマシテ、
國民ガ冷靜ニ興奮カラ冷メタ時ノ狀態ニナ
リマスト、矢張リ依然トシテ恩給亡國論ト
云フヤウナコトガ一部デハ唱ヘラレルヤウ
ニナルデアラウト思ヒマス、殊ニ恩給ヲ持ッ
テ居ル階級ト、持タナイ階級トノ關係カラ、
常ニ恩給ヲ持ッテ居ル階級ニ對シテ、持タナ
イ階級カラ羨望ノ的ヲ以テ見ラレルト云フ
ヤウナ情況デアリマスノデ、只今ノ制度ニ
於テ是レ以上増スト云フコトハ困難デヤナ
イデアラウカ、先日來私共申上ゲテ居リマ
ス恩給制度ノ根本改革ト申シマスノハ、實
ハ其ノ點ヲ考ヘテ居リマスノデ、恩給制度
ト云フ制度デナク、他ニ之ヲ轉換シマシテ、
實質的ニモウ少シ何等カノ待遇ヲ與ヘル方

法ハナイデアラウカ、之ヲ民間ノ給與ナド
ニ比ベマスト、現在ノ官吏ノ給與ト云フモ
イナラバ、必ズシモ私共高イト考ヘテ居ラナイ
ノデアリマス、又非常ニ有能ナ人ヲ活動サ
セルト云フ目的デアリマスレバ、僅カナ給
與ノ節約ヲスルト云フヤウナ問題デヤナク
シテ、モット十分ナ給與ヲ與ヘテ、有能ナ人
ヲ活躍サセルト云フ必要ガ私共大イニアル
ノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、
唯現在制度ノ上ニ之ヲ直チニ實行スルト云
ノ御質疑ハ陸軍ニ對スル御質疑ト存ジマス
カラ、次ノ機會ニ陸軍政府委員ナリ若シク
トニシマス

○委員長(三井清一郎君) 山田伯爵ノ後段
ノ關係上、現下ノ狀態ニ於テハ下ニ厚クノ
レバナラナイ問題ダト思ヒマスガ、財政上
ノガ、必ズシモ私共高イト考ヘテ居ラナイ
ノデアリマス、又非常ニ有能ナ人ヲ活動サ
セルト云フ目的デアリマスレバ、僅カナ給
與ノ節約ヲスルト云フヤウナ問題デヤナク
シテ、モット十分ナ給與ヲ與ヘテ、有能ナ人
ヲ活躍サセルト云フ必要ガ私共大イニアル
ノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、
ノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、
唯現在制度ノ上ニ之ヲ直チニ實行スルト云
ノ御質疑ハ陸軍ニ對スル御質疑ト存ジマス
カラ、次ノ機會ニ陸軍政府委員ナリ若シク
トニシマス

○委員長(三井清一郎君) 今日ハ午前中デ
止メル積リデアリマス

○内田重成君 ソレデハ次回デ宜シウゴザ
シテ宜シウゴザイマス

○委員長(三井清一郎君) 本日ハ此ノ程度
デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會
致シマス

○委員長(三井清一郎君) 午前十一時五十九分散會
出席者左ノ如シ

委員長 三井清一郎君
副委員長 男爵渡邊修二君
侯爵井上三郎君
伯爵山田英夫君
子爵大河内輝耕君
子爵裏松友光君
子爵大岡忠綱君
内田重成君
男爵前田勇君

○政府委員(高木三郎君) 取扱手數料ヲ見
越シテ居リマス、其ノ額ヲ幾何ニ致シマス
カ、マダ具體的ニ決メテ居リマセヌガ、取
扱件數ニ應ジテ相當ノ手數料、事務費等ヲ
出ス積リデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、此ノ
收支概要ノ中デ、手數料ト云フモノガ是レ

アリマシテ、御説明ノ通り理論カラ申シマ
スレバ、徒ニ下ニ厚ク、上ニ薄クト云フコ
トヲ誇大ニ宣傳スルト云フコトハ私共考ヘ
物ダト思ヒマス、其ノ點ヲ餘程考慮シナケ
レバナラナイ問題ダト思ヒマスガ、財政上
ノ關係上、現下ノ狀態ニ於テハ下ニ厚クノ
レバナラナイ問題ダト思ヒマス、

○子爵大河内輝耕君 ソレデハソレデ宜シ
ウゴザイマス

男爵柴山 昌生君
丸山 鶴吉君
深井 英五君
濱口儀兵衛君
野村 德七君
米原 章三君
岩崎 清行君

政府委員

内閣恩給局長 高木 三郎君
大藏省銀行局長 入間野武雄君
陸軍政務次官 加藤久米四郎君
陸軍參與官 比佐 昌平君